

# マリンストア ニュース

YAMAHA

NO.9

'78-12>'79-1

新年にはすみをつけて大飛躍!

ヤマハ船具部 第一号  
**初荷セール** 実施中



## 年末年始

は平素に増して、お礼、お歳暮、年賀など、とかくお付き合いの多くなる季節です。

冠婚葬祭だけでなく、万事が簡略化していく現代生活ですが、そんななかで意外に活躍しているのが「のし袋」——。自分の好意やお礼の気持ちを、手軽に、そしてスマートに相手に伝える小道具として、これは現代にすこぶるマッチした。バック製品」ということで、その需要は年々高まっているとのこと。

「のし袋」は大きく分けると祝儀用と弔事用に分かれています。これをご存じない方はおそらくないでしょう。しかし、うっかりして使い方の約束ごとを間違えると、せっかくの好意やお祝いの気持が、とんでもない誤解をまねき、先方に失礼となることがあります。そこで、祝い事に関する約束ごとについて念のためひとこと…。

祝いごとの代表といえは婚礼ですが、このお祝いのときにかぎり、紅白または金銀の水引が「結び切り」のものを用います。これは「めでたいいことだが、生涯一度かぎり…」といった意味からで、昔からのしきたり



「結び切り」



「花結び」

りとなっています。

同じように、紅白や金銀の水引のものであっても、それが「花結び」となっているものは、進水祝いや新築祝いなど、たび重なることがよりのめでたいことの時に用い、婚礼祝いには決して用いてはなりません。「花結び」の水引、またはそれが印刷されているものは、お祝いごとの他に、中元、歳暮などの贈答、また年賀、謝礼、銭別など、その用途は巾広いものとなっていますが、この「花結び」の図を略したものとして、赤い線を印刷しただけのものが最近も多く出まわっており、祝儀一般や贈答には、これを用いる人々が増えているそうです。

54年 1月

- 1日 / 祭 元日 「なせばなる なさねばならぬ何事も ならぬは人のなさぬなりけり」江戸時代なごころ墨羽の米沢藩主、上杉治憲(はるのり)は、勤倭と殖産振興策に力をつくし、藩財政の立てなおしをはかりました。
- 5日 / 上弦の月 小潮
- 8日 / 学校始業日
- 13日 / 満月 大潮
- 15日 / 祭 成人の日、小正月
- 21日 / 下弦の月 小潮、大寒
- 28日 / 新月 大潮

53年 12月

- 7日 / 上弦の月 小潮
- 14日 / 満月 大潮
- 22日 / 冬至 この日から新しい太陽が生まれる。古くから東洋でも西洋でも成熟をねがう信仰の日。
- 23日 / 下弦の月 小潮
- 25日 / クリスマス たいていの日本人には二十四日夜の「イブ」の方が親しく、マイホームパーティーも定着したようです。
- 30日 / 新月 大潮
- 31日 / 大晦日、男鹿なまはげ (秋田県)

# ますます繁昌、ますます快調。 初荷セールではずみをつけて



'78年の商戦もあますところわずか。いよいよ大詰めを迎えました。

漁業市場においては、200カイリ時代における沿岸漁業の見直しと、その振興策がひきつづき推進される一方、レジャー市場においては、人々の「自然の中のびのびレジャー」を、「またスポーツを」といった意識傾向の増大を反映して「ボート釣り」や「ヨットینگ」の愛好者が急増するなど、わたくしたちを取りまくこの一年の商環境は全般的にみてたいへん順調に推移し、来る年にまた大きな期待を抱かせるものとなりました。

こうした中でいま、みなさんは有終の美を飾るべく、新規顧客の開拓に、見込客のフォローに、また、点検・修理の活動にとご多忙な毎日を過ごされていることでしょう。本年の締めくりとなる年末のご商売の展開は、来年のご商売を本年にも増してスケールアップするための「踏切台」でもあり、「はずみ車」の役割を果たす重要なものとなります。

ヤマハでは、みなさんの積極果敢な年末、年始の商戦をバックアップし、みなさんが新しい年も幸先よいスタートを切られ、ますますの繁栄を築かれることを願い、「ヤマハ初荷セール」を実施いたします。

このセールにつきまして、以下にご案内し、担当セールスマンからも詳しくご案内いたします。ふるってご参加いただき、お客さまともども素晴らしい'79年の新春をお迎えください。

お客さまに、めでたい「も樽」をプレゼント

### ●対象商品

ヤマハ船外機全機種  
ヤマハ和船全艇種  
ヤマハ小型ボート  
(船外機艇)

●お客さまプレミアムの対象となる期間と個数  
12月中のマリンストアさん引き取り分、1台(隻)につき1樽を贈呈



年末・年始の店頭に一層の活気を

このセールを盛りあげ、年末・年始の店頭を賑やかに演出する各種のツールを用意いたしました。ご活用ください。



大漁ハツビ



ポスター



ノボリ



ツノダル



ますます半升(繁昌)、ますます快調  
大漁拵(各2.5合)1組

# 釣り界初めての「大イベント」

## 78 ヤマハボートフィッシングコンテスト

9/1 ~ 10/31 が終幕



北海道から沖縄まで、全国百十五の会場でボート釣りコンテストを短期集中開催。みなさんと特約店さん、そしてヤマハが一体となって全国規模で実施した釣り業界でも初めての試み「78 ヤマハボートフィッシングコンテスト」は、日本列島二万キロの海岸線に、最近のボート釣りの人気のほどを手にとるように、「一枚の絵」として描き出し、好評のうちに無事終了、「サイパンビッグフィッシングツアー」のラッキー賞を射止めた人々も厳正な抽選の結果、決定いたしました。(当選者の名簿は、本誌「ヤマハとびつぐ」のページに掲載)

ボート釣りに対する人々の関心が高まっています。高まっている中で実施されたこのコンテストは、マリンストアさんとヤマハの、ユーザーみなさんに対するサービスタクティ

して多くの既存ユーザーに喜ばれたことはもちろん、新規ユーザーの誕生を促進する、いわば需要創造にも大きな役割を果たしました。

今回のこの企画に賛同され、自店のお客さまを集めて自主開催されたマリンストアさん、また、お客さまたちを地元の大会にご案内するといったかたちでこれに参加されたマリンストアさんたちも、「こうした活動は、お客さまへのアフターサービスと新規需要開拓のため、今後その必要性をますます高めていくでしょう」と一様に語っておられました。

まだまだ多く潜在する「釣り客」を確実に発掘する活動を今後も積極的に展開し、次回のこのコンテストはさらに盛大に実施できるような環境を、みなさんとヤマハが一丸となって築きあげていきたいものです。

各地に咲いた多彩なふれあいの輪

やっぱり釣り宝庫の瀬戸内。

県下十五会場が沸いた「お彼岸連休」

9月23日(祭) 岡山県・日生会場



指名魚の大表格・ちぬ

瀬戸内海国立公園という最高の釣り場に恵まれていた岡山県では、九月二十三日、二十四日の二日間に県下十五ヶ所をいっせいにコンテストが開かれるという盛り上がりぶりを見ました。

ころに見つけられます。東は赤穂市(兵庫県)、西は牛窓町(邑久郡)までの商圏内から二十余隻がこの大会に参加してくださいました。

秋口は、魚種が実に豊富です。チヌ、メバル、アブラメ、ハゼ、セイセスキの仔、ボラ、アナゴ等々；そこで、指定魚を一種にしほ

るのはいかに不合理、と「フグ、アナゴ、ボラ、カニ以外はすべて指定魚に含める」というルールを決め、「重量の部」の優勝者と「大物賞」の獲得者の二人をサイパン招待の候補者に推せんすることにしました。

しかし、参加したみなさんの狙いは、なんといつても、高級魚で釣趣抜群のチヌ(クロダイ)。「チヌは、神経質な魚だから、明るくなつてからでは食いが悪い。果して釣れるかどうか」とあゝむ声もありましたが、「FISH-22」に参加、



と二人で二十五級級のチヌを九尾も釣りあげるといった大釣果。重量賞は惜しくも逸したもののみごと大物賞を射止めたサイパン行き抽選資格者の一人として名乗りをあげました。

アドバリンがゴール(検量場)。

最後に笑った「あじ平丸」

10月1日(日) 東京都、千葉県、神奈川県、東京湾会場

東京都、千葉県、神奈川県、東京湾会場が競技海面。 天気晴朗なれど波高かといった天候のた

ト2,500隻／釣りファン6,000人が参加

# おどり出た ボート釣り時代

# 全国115会場で釣りボ-



指名魚・ふっこ



めに、当日は「バスボート17」以上のバスボートシリーズや、19号から28号級までのSTRシリーズ、そして「FC-27」と、中型艇ばかり二十七艇の参加となつてしまい、残念ながら、エントリーしていた小型艇の参加は見られませんでした。

この大会の特色は、なにしろ「会場」が広い、ということ。参加者のみなさんも広域に散在しており、各自の係留地や小さなマリナーから、単独あるいは少グループでのエントリーというかたちになりました。そうした状況から、競技開始前の集合や点検は抜きにして、「朝六時より競技開始」と事前に伝え、プレーヤーの紳士的な申告を尊重するといった「ゴルフ方式」でコンテストは開始されました。

大会本部、検量場を設営したのは、木更津市・袖ヶ浦の地先。新日鉄・君津工場付近に上げたアドバルーンが目印です。この会場設定は、指名魚のフッコ(小型のスズキ)のポイントに関係があります。「この時期に東京湾のフッコを狙うなら、第一海堡か、第二海堡、付近だ」というのが常識なのです。その日も、

たくさんの遊漁船が、参加艇とともにここにおしよけてきており、海堡から投げ釣りをする人も大勢いました。

ところが、ここを狙った人は、当たりがはずれたのです。早々と切りあげて、アドバルーンを目標に検量場にやってくる艇のアイスボックスのなかに、フッコの姿が見えたらいいのです。検量を終えた人々は「これでは勝負にならないなあ」とお互いに苦笑いです。しかし、参加艇のなかでいちばん小さな「さちかせ」(STR-16号)の吉田茂さんたちがボックスを重たそうにかついでやってきたときは、一瞬、検量場が色めき立ちました。数はたしかにありました。ところが、ビニールシートの上におちあけられた百尾あまりの大部分がシマイサキやヒラアジ。残念ながら、フッコの姿はここにも見当りません。もつとも、総重量一八・四五kg、一人当り四・六一kgで、「重量の部」の優勝は決定、といったところ。

さて、検量締切時刻ギリギリに入ってきたのが二宮正さんの「あじ平丸」(FC-27)。彼の持つバケツには、なんとフッコが二十二

日本三景のひとつとして明媚な風光を誇り、四季を問わず全国からの多くの観光客で賑わう松島湾では底釣り大会。ここでの底物は、四月から十一月までアイナメが中心。十月と十一月は、これにカレイとハセが加わります。しかし、最近ではハセが少なくなってきたため、今回の指名魚はアイナメとカレイ。参加艇は十六隻(四十二人)でした。

松島町高城の田畑浩哉さん(FC-22)が、指名魚を百二尾(三・八kg)も釣り上げ、「指定魚の部」「重量の部」の両部門で一位にランクされましたが、「ひとり占めでは申し訳ない」ので重量の部の優勝を他の人に譲りたい」と、ご本人からの申し出があり、これを受けて、本部では仲間二人で参加して五・三七。(一人当り二・六四)を釣った齋藤清太さん(STR-16-0)を重量の部の大漁賞に決定しました。



かレイ



## 『大漁賞のひとり占めは申訳けない』 スポーツマンシップを発揮した田畑さん

10月15日(日) 宮城県・松島湾会場

尾ノしかも大きなものは三七kgもありました。指名魚の部の「大漁賞」はもちろん、「大物賞」までひとさらというこの劇的フィナーレに悪戦苦闘組からおもわず嘆声ももれた、という次第。

「あえて海堡付近を避け、検量場近くの船の集まらないポイントを選んだ」というのが二宮さんの打明け話です。人の行く裏に花あり吉野山。なごやかな笑いと駆け引きのスリルに満ちた「ジャンボ会場」でした。

### ■釣り人は、たえず師を求める

ヤマハ特約店「松島マリンベース」 大山英雄主任の話

「釣り人は、いつも仲間というか、自分より上手な釣師に出会える機会を求めています。松島マリンベースでは、毎年二回ほどトローリング大会と底釣り大会を開催していますが、これとは別に「釣り講習会」を年に数回ひらきます。

私たちが、講師です。まず、私たちが、釣りの名人やベテランの船に乗せてもらって釣り技術や釣りの勉強をします。道具も自分で作って見ます。そして、よく解ると、それを受講者の方に伝えるのですが、にわか講師の教室が和気あいあい毎好評です。受講者のなかからボートオーナーになる人がかなり出ていて、釣り大会の「底辺づくり」の役割をはたしているのです」

# ご存知、遠州浜名湖大会

## 五十六隻が参加、全国二の大会に

10月8日(日) 静岡県・浜名湖会場



こちらは早春のカイズ(小鯛)釣りから冬場のカレイ釣りまで、四季を問わず、週末ともなると遊魚船とマイボートで湖内一帯が賑わう浜名湖。

九月と十月はハゼ釣りの最盛期で、今回のコンテストもハゼが指名魚。当日は、奥さん子供さん連れの「ファミリー派」も含め、五十六隻が参加し、全国一を誇る規模の大会と

なりました。

老舗の船宿を中心に、釣り情報にはめっぽう耳ざといという常連が集まる土地柄。ここでは豪華な賞品も多数用意され、参加者のみなさんの意気込みもたいしたものですが、早くから今回の企画に積極的に参加し、自店のお客さまたちへのPR活動も積極的に展開して、当日十六隻、三十五人の方々を会場



に送り込んだ浜松市の「ワタマリンサービス」(和田正武社長)さんは、この大会に参加されての感想を次のように話してくれました。

●よりスムーズで楽しい運営の仕方を学べたのが有意義

「実はうちのお店単独でも一年に一度は釣り大会を開催しているのですが、今日参加してよりスムーズで楽しい運営の仕方が学べたことはとくに有意義でした。また、日頃も感じているのですが、ヤマハの釣りボートのラインアップが実に豊富で、お客さんがそれぞれのボートで思い思いの釣りを楽しんでいたことが印象的、ボート釣りはますますさかになりそうです」

●心のこもる賞品選びが大切

「いろいろな賞をとられた人々の中から抽選で一名の方だけに贈る、といった「最高賞」が、たまたまウチのお客に当たりました。え、ご本人は手放しで喜んでおられました。また、これが周囲の大きな話題にもなりました。こうした催しのときには、賞品の選択を決して軽く考えてはいけません。テラックスな賞から参加記念品まで、一つ一つに主催者の心をこめて選ぶことが大切なのだと思います。おもいがけない「ごほうび」が、その日の出来事をのちのちまで深く印象づけるのではないのでしょうか」

●釣りボート販売に欠かせない「情報屋」としてのサービス

「私」ころには、お客さんと貸舟屋さんの

両方から、諸々の釣り情報が入ってきます。普段は仕事で忙しく、自ら釣りを楽しむ時間はあまりありませんが、こうした情報を積極的に集め、耳よりな話しはなるべく早くお客さんたちに知らせよう、と日頃から心がけています。釣りファンにとっては、実際に魚を釣ることもさることながら、こうした情報「を釣ることも、またたまたま楽しい楽しみですね。今回のこともなるべく多くのお客さまたちに知らせようと、約八十名の方々に電話をしたり、DMを出しました。多くの方が参加し楽しむことができたのも、日頃の「情報屋」としての活動が実った結果、であるといえます」

●せっかくの「場所は、商売にも活用しよう」  
「実は、当日の会場に新発売のU-17FとU-19Fの「テラックスタイプ」が展示されま

### 越後の海、冬はかけ足...

### 晴天に恵まれた貴重な日曜日でした

10月8日(日)

新潟県・日和山海岸会場



夏場は双葉浜に浜茶屋が軒をならべ、キス釣りに手こぎ舟まで出てにぎわう日和山海岸。白い砂丘と、それを浸蝕からまもるテトラポットの防波堤が長く延びていて、独特の景観をつくっています。

例年、十月に入ると、時化の日が多くなりますが、幸いにも大会当日は曇ひとつない好天に恵まれ、岸から二、三、の岡場に各船がおもいおもいに糸を垂れたのです。

ここ新潟市では、前の市長さんが大の釣りファンで、市民の「マリンクラブ」の会長をつとめたほど。それだけに、ボート釣りもたいへん盛んな土地柄で、今回のコンテストにも、いま人気の「FISH-22」をはじめ、「バスボート-17F」、「STR-19」など様々なヤマハ釣りボートが参加。イナダ(小

した。コンテストのあと、この試乗会が行なわれましたが、みなさん興味シンシンでした。ボートオーナーはお隣の船のことが気になるもので、自分の船と他人の船の使い勝手と比較しては、代替、とくに上級艇を所有する算段をいろいろとされている、ということは日頃から感じていました。腕自慢が集まるこうした場所での「新艇展示会」は、代替促進などにたいへん大きな効果が期待できます。ユージーさんにとっては、こうした集いの場がとくに、次の艇を見出す機会となるのだ、という点も発見できました。今後でもできる限りこうした催しを開催して、ユージーサービスを果たすとともに、それを商売にも結びつけていきたいと思っています」

型のブリ、メジ、サバ、イワシなど豊富な秋の魚種を指名魚に、また、小タイを「赤もの賞」として特別に表彰するといったルールで、日頃の腕を競いあいました。



# おどり出た ボート釣り時代

## 釣り大会はマリンストア経営のたいせつな“玉手箱”



オートバイ販売店では、スポーツバイクのお客さまを集めてツーリングを開催したり、モトクロスレースを運営したりしているお店にスポーツバイクのお客さまが多く集まっていることをご存知でしょうか。

同様に、今後、ボート釣りを楽しむ人々が増えれば増えるほど、釣り大会のような催しを開催できる実力をもったお店とそうでないお店とでは、人々のお店に対する親密度や信頼度、つまり評価がちがってきます。

免許教室受講生募集活動や釣り情報提供活動をはじめ、ボート釣り愛好家のみなさんに多く集まっていただくようなお店づくりに励んでおくことが大切です。

### ●釣り大会の開催には、こんな効用が……

- 「競争」と「笑い」が釣り客同志のお付き合いを急速に深めます。
- 釣り情報の交換がお店とユーザーを緊密に結びつけ、また、ボート遊びを普及してファンを増やします。
- 新規客との出会いの場となります。(お客さんが新しいお仲間を連れて参加します)
- より魅力のあるボート釣り及びボートの発見の場となって展示会的効果も期待できます。
- 話題が話題を呼んで、地域社会に対するお店のPRが浸透します。

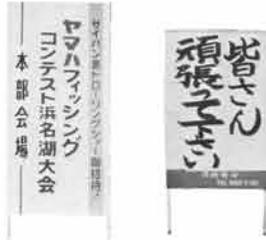
### ヤマハボートフィッシングコンテストを演出したさまざまなツール類



①告知に… ●ポスター ●チラシ ●ハガキ

②雰囲気盛り上げる会場設営…

- 大会看板 ●横幕 ●立看板



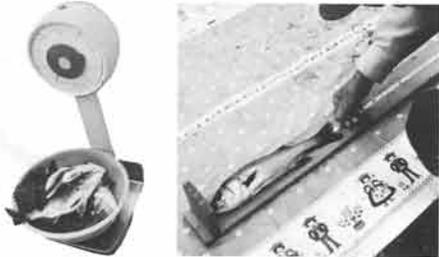
③スムーズな運営のために…

- スケジュール表 ●エントリー表 ●成績表 ●指定魚の表示



④検量用具…

- ハカリ (50g単位まで読み取れること)
- スケール (L字型のものが便利)
- 計算機 (1人当たりの重量割りに便利)



⑥日頃のご愛顧に感謝のサービス…

- 参加記念品 ●特別賞



⑦なごやかなムードと親睦の場を…

- おしゃべりコーナー (湯茶のサービス)



⑤大会の格式を高め、興味を盛り上げる賞品…

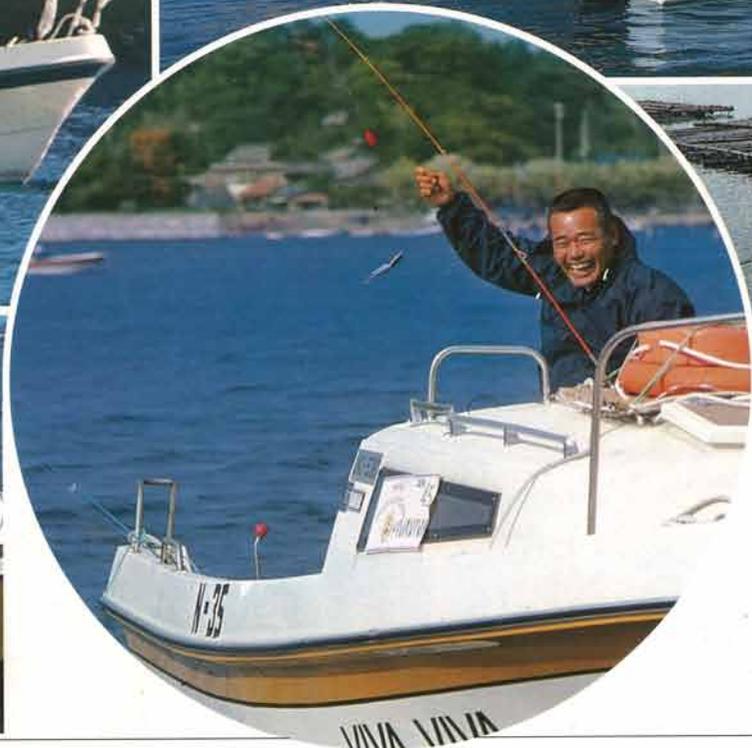
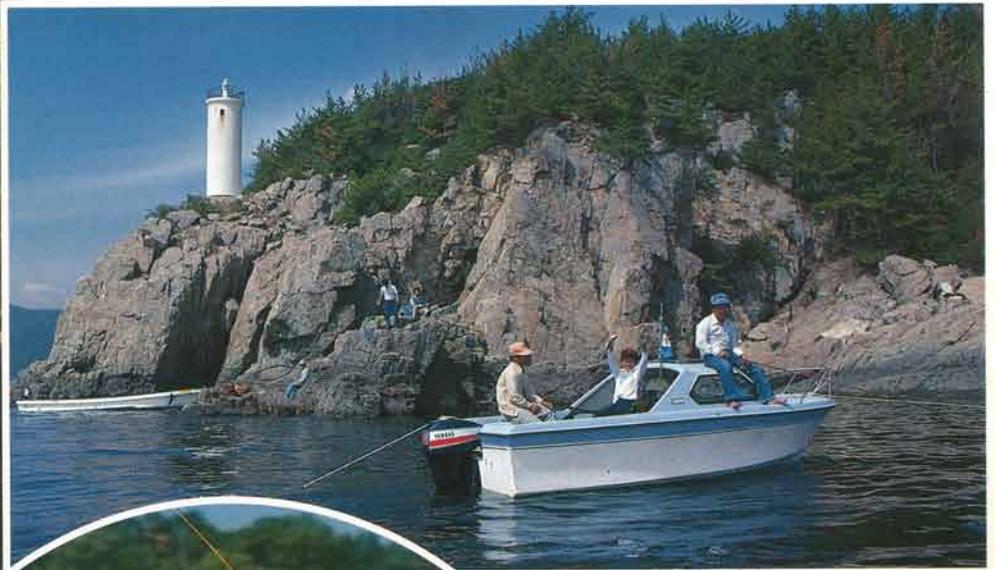
- トロフィー ●釣り竿など各種賞品 ●大漁賞



マナジリを決して“大漁賞”に挑む「モーレッツ社員派」  
 こつこつマイペースで糸を投げる「ライフワーク派」  
 服装と道具に凝り出す「ファッション派」  
 奥さん、子供同伴の「ファミリー派」  
 男同志の休日を楽しむ「オヤジ万歳派」  
 など、など……



好みは、それぞれちがっていても、  
 陸に上れば一堂に会して、あちこちに  
 笑いの輪が生まれます。  
 それが78YBFCの喜びだったのです。



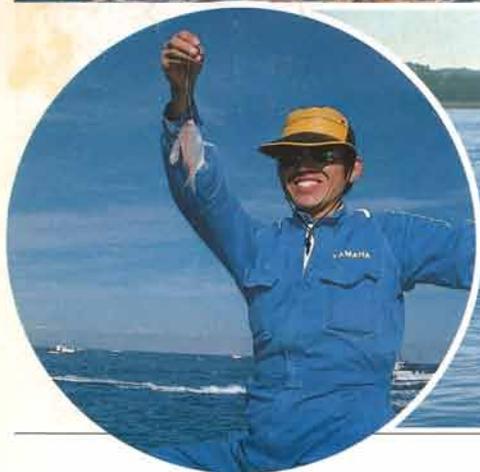
ろ…



楽しさはみんな一緒。



# '78ヤマハ ボートフィッシングコンテスト



釣り人いろいろ…釣り方いろいろ



## マリンストアさんと ヤマハが一体となって

業務市場においては▼市場の実態と変化の動向をしっかり把握していただき、市場規模に見合う充実した販売体制をととのえ、販売目標を明確にし、具体策を立案、目的完遂のために営業活動を推進していただきたいと思えます。ヤマハは商品開発を積極的に進めてバックアップし、マリンストアさん、ユーザーのみなさんの要望に充分応えていきたいと考えています。

# 新春早々からの充実した政策で ここ一番！の市場づくり 取り組んでください。

この秋、日中平和友好条約が結ばれたころ、「全方位型外交」という言葉がひとしきりマスコミをにぎわせました。また、「不確実性の時代」という言葉も本年はよく耳にしました。このふたつの言葉は、まるで、銅貨の裏と表のように、一つの共通した認識の上に立っているではありませんか。現代のような多様化した社会にあつては何事も、いつまでも安定した状態ではあり得ない。そこでたえず四方へ注意ぶかく眼を配って、新しい局面にたいしては手ぬかりなく、積極的に取り組もうという姿勢をあらわしています。さて、マリン業界も、79年の新春を迎え、いよいよ多彩に、しかも広い社会性を帯びた事業の段階へと発展してきました。ヤマハボート、ヨット、和船、船外機の販売に当たってくださるヤマハマリンストアさんたちの顔ぶれがにぎやかになったことが、その力強い現われとなっています。業務市場へ、プレジャー市場へ、あるいは両方へと、それぞれお店の立地条件を活かして業務拡大をつづけていただいておりますが、ここに最近の市場動向と、それへの対応策を紹介して、79年商戦のスタートをきりたいとおもいます。

努めていただきたいと思えます。安全の普及をも含めたこうした活動は、マリンストアみなさんの繁栄に一層の重要性をもつものとなってきました。ヤマハではみなさまと一体となつてこのような課題に取り組みでまいります。お店でも積極的な取り組みを展開し需要の拡大を図り、79年に一層の繁栄をお築ください。

## ここ一年の需要の動向は

78年中の市場の動きで顕著な伸長を示したのは、①シンリース②大型船外機③釣船シリーズ④小型ディンギーなど。とくに③ミニ

もう一つのニュースは、地域和船の開発がいずれも好成绩をおさめたこと。販売データは、FRP和船の未開発市場がまだまだ多く残されていることを示唆しています。新船型の開発と既開発艇の汎用化による市場づくりは、78年にひきつづき大きな課題となります。

## 79販売促進企画の展開

ヤマハでは、79年の業務市場、レジャー市場それぞれの販売促進計画を次のように企画し、実施していく予定です。

## 地域ごとの対応

キャンペーンなど各種販促企画の展開は、必ずしも「全国画一的」におこなわれるべきものではなく、マリンストアさんとヤマハ拠点が自分たちの市場環境に密着して柔軟なプランニングをし、あたたかい血の通った販促をくりひろげてくださることが急所になります。その好例を、二つ紹介しましょう。

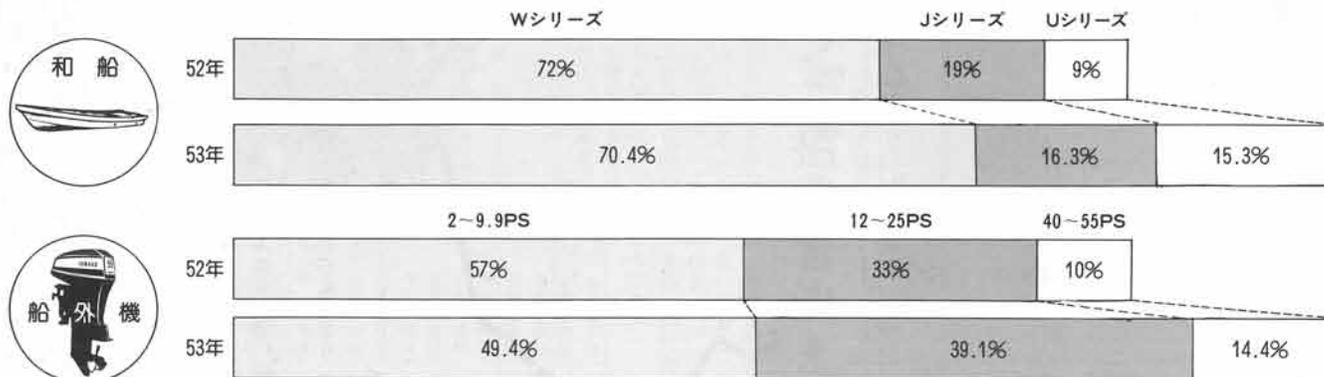
### 島根県・宮来町

〈川田サイクル〉川田政雄さん

「これまでは春のワカメ採り、夏の磯漁と刺

# '79年は「全方位型販売」の展開だ

## ■ヤマハ和船・船外機の販売構成比



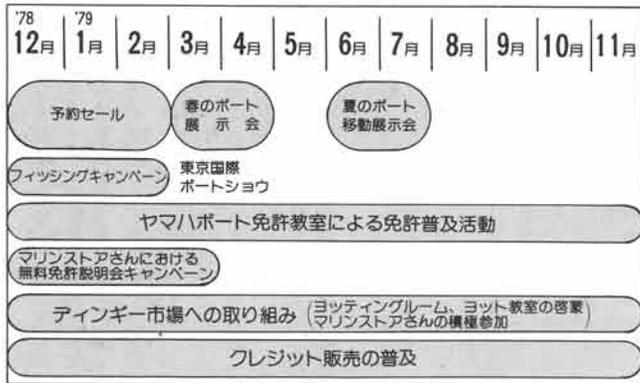
※和船では釣りブームを反映してUシリーズの伸長が目立ちます。  
 ※船外機では12-25PSクラスが順調に伸長。加えて40-55PSの大馬力が大きく伸長し、大型化傾向を示しています。

## ■ヤマハボート重点商品購入者の分析

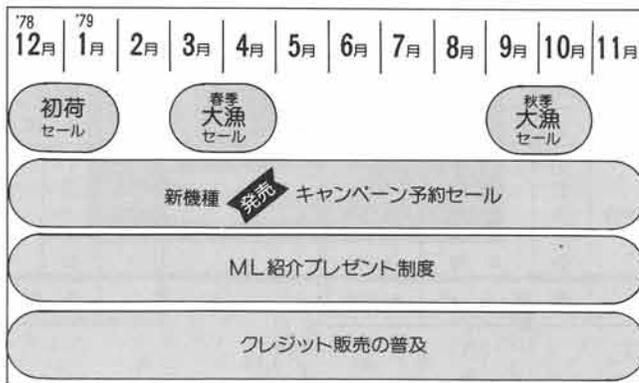
項目	釣りボートグループ			ファミリーボートグループ		
	35-39才	40-49才	その他	35-39才	40-49才	その他
新規率	54%			53%		
年代	25%	31%	その他	26%	30%	その他
年収	300万円以下 12%	500万円以下 43%	その他	300万円以下 10%	500万円以下 42%	その他
職業上の立場	雇用者 58%		被雇用者 39%	雇用者 65%		被雇用者 32%

※四輪車とは異なり新規のお客さまが多く、このクラス（重点商品）はとくに所得も平均的な一般のサラリーマンまで需要層が広がっています。

## ■プレジャー市場



## ■業務市場



プレジャー市場においては「ボート免許教室、ヨット教室などの普及活動を積極的に計画、推進され、健全な海洋レジャーの普及に

ホッパー、グッピーホッパー」のディンギー級は驚異的な完成績を上げて、各地で需要の底辺を一挙に拡大することに成功しました。

業務市場においては「積極的なクレジット販売の普及、プレジャー市場においては「ディンギー市場への積極的取り組み」が、年間キャンペーンの新しい柱として加わりました。

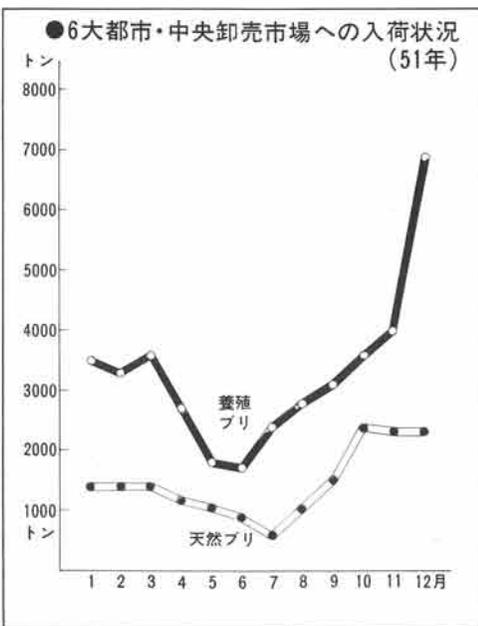
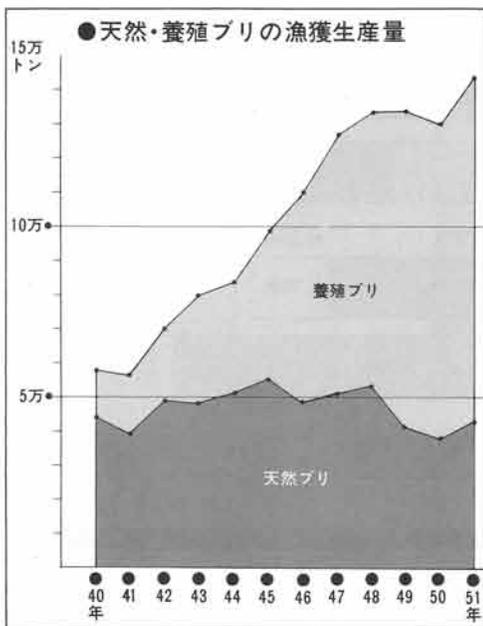


網が終ると、終漁なので、秋季の大漁セールでは翌年の購入計画についての話し込みにしかなっていきなかつたので力を入れていませんでした。ところが、ここの一、二年、秋十月になっても一本釣、刺網をする漁師さんが日によって目につくようになりました。FRP和船になってからは、浜おろしが簡単なので、漁師さんは天候が良ければ浜におろし漁をしているのです。

この傾向に気が付いたので、今秋の大漁キャンペーンでは、思いきって積極的な売り込みをかけました。その結果YAMAHA 6B Lが十台も実販できました。」

三重県・四日市市  
 第一自動車伊勢支店 太田孫三さん

「ノリ漁場では、秋の「始業点検」はもちろん大切ですが、春の「格納点検」も重要だと判断しています。船外機について、お客さん自身のケアも向上し、秋のトラブルは少なくなりました。私たちは、終漁時の点検キャンペーンをしっかりと行います。性能についての確かな判断ができるし、お客さんも水揚げ成績を把握しているので商談をお互いに合理的にすすめられるのです。」



# 高級魚の大衆化を 先頭にたつておしすすめてきた 「養殖ハマチ」

★冬は、あぶらののったおいしいブリ「寒ブリ」が食べられる季節ですが、これから歳末にかけて魚市場へのブリの入荷量が急増してきます。  
★ところでブリは出世魚といわれるように成長につれて呼び名がいろいろかわります。

長につれて呼び名がいろいろかわります。地方によってもずいぶん違いがありますが、「ブリ」が標準の和名。「ハマチ」とは、もとは関西で一歳前後(30〜50cm)のブリに対する呼び名でしたが、瀬戸内海の養殖ものがひろまるにつれて一般化するようになり、いまでは東京市場でも通用しています。

★天然のブリ漁は、昔は「ブリ網(定位網)」が中心でしたが、いまは各種の釣漁(延縄漁)が主体となってきました。また、あくり網(巻網)・刺網による漁獲もふえています。全体に若年魚を狙う漁法にかわってきたため、市場へ出まわるブリは三〜五キロ程度のものが多く、七キロもある大型魚は珍しくなりました。  
★漁場と漁法としては①西日本(長崎、福岡、山口、島根)の一本釣・曳釣・延縄、②日本

養殖ブリの出荷番付表

年度	順位	県名	トン数
51年	①	三重	17,029
	②	愛媛	15,916
	③	長崎	14,079
	④	鹿児島	12,761
	⑤	高知	11,884
全国合計			101,786
50年	①	愛媛	15,772
	②	三重	13,951
	③	高知	13,048
	④	長崎	11,227
	⑤	鹿児島	11,060
全国合計			92,407
49年	①	三重	18,045
	②	愛媛	15,823
	③	高知	15,318
	④	鹿児島	9,048
	⑤	長崎	8,483
全国合計			92,946

天然ブリの漁獲番付表

年度	順位	県名	トン数
51年	①	長崎	11,673
	②	山口	4,412
	③	島根	3,971
	④	福岡	2,875
	⑤	福岡	2,230
全国合計			42,763
50年	①	長崎	6,500
	②	富山	3,688
	③	島根	3,628
	④	石川	3,591
	⑤	福岡	2,977
全国合計			38,316
49年	①	長崎	7,263
	②	島根	3,918
	③	石川	3,183
	④	新潟	2,736
	⑤	千葉	2,734
全国合計			40,977

●養殖ブリの漁獲生産量

■…年間生産5,000トン以上の県  
□…近年の養殖実績のある県



●天然ブリの主要生産県

■…年間生産1,000トン以上の県

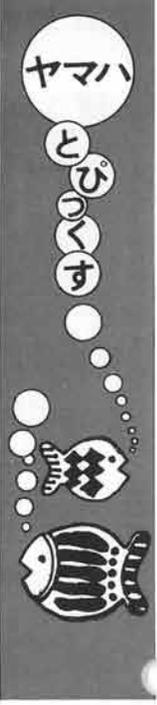


……ブリの若魚から成魚まで、各地の呼び方は……

- 東 京…ワカシ(15cm前後)→イナダ(40cm前後)→ワラサ(60cm前後)→ブリ(.m前後より大きなもの)
- 大 阪…ツバス→ハマチ→メジロ→ブリ
- 兵 庫…ツバス→メジロ→ニネンゴ→サンネンゴ
- 高 知…モジャコ→ワカナゴ→ハマチ→ブリ→スズイオ
- 日本海方面…フクラギ、フクラゲ(若魚に対して)



海(富山、石川、福井)の定置網、③太平洋側(三重、高知)の定置網などが代表格ですが、いずれも秋十月頃から冬にかけてが盛漁期です。  
★一方、ハマチの養殖が試みられたのは戦前の話ですが、昭和三十五年ごろからこれが本格化し、数年前から養殖ものの収穫量が天然ものの漁獲量を超え、主役の座を占めています。これから年末にかけて、瀬戸内海を中心とした各地の養殖漁場から養殖ハマチの「当歳魚」の出荷も活発化します。



みなさまのお店のまわりの

明るい話題、楽しいニュース

これはと思う情報を

お知らせください

ご質問やご相談、こんな内容の情報をおいっただご希望もお寄せください。みなさまからの原稿や写真の投稿も、もちろん大歓迎です。

■宛先は  
〒438 静岡県磐田市新貝2500  
ヤマハ発動機株式会社・広報部PR課

「マリンストアアニュース編集係」

## 北海道、祝津大会の谷口喜一様ら16名 「サイパン」ご招待者決まる

全国で大きな盛り上がりを見た'78ヤマハボートフィッシングコンテストの「サイパンビッグフィッシングツアー」のご招待者を決める抽選会が、去る11月16日にヤマハ発動機(株)東京事務所の6階会議室において行なわれ、全国87選手が決定しました。なおこの抽選会は、警視庁防犯課、築地警察署の齋藤巡査部長立ち合いのもとに厳正、公正に行なわれました。



78ヤマハボートフィッシングコンテスト 抽選会、会場

道北	谷口喜一様	%祝津	大会
北海道	千葉信男様	%北見	大会
北陸	菅原幸彦様	%気仙沼	大会
東海	田畑浩哉様	%松島湾	大会
東山	岡宮勇一様	%横浜	大会
関東	石井 輝様	%シブノア	大会
中部	永里純輝様	%西瀬	大会
中部	西野 勝様	%羽	大会
西国	辻見重行様	%二里ヶ浜	大会
西国	久保義助様	%大	大会
西国	竹井幸美様	%徳島	大会
西国	依 豊年様	%山	大会
西国	大西宗広様	%山	大会
西国	上田健次様	%栗井坂	大会
西国	川井慶之様	%岡	大会
西国	宮本貞男様	%蛟	大会
西国	宮本貞男様	%蛟	大会

※本誌前号で「サイパンビッグフィッシングツアー」は明年1月に実施。とご案内いたしましたが、都合により2月4日から7日までの4日間、とさせていただきます。ご了承ください。

## ヤマハ・マジシャン5世 我が国ヨット界待望の 「世界選手権」を制覇 78クォータートン世界選手権大会



### 「世界のヨットメーカー・ヤマハ」に 国際的評価ますます高まる

小型クルーザーヨットによる国際的なビッグレース、78クォータートン世界選手権大会が去る10月23日から11月5日まで、神奈川県横浜須賀町の「佐島マリナー」を基地に、10カ国より32艇が参加して盛大に開催され、優勝候補の一艇として注目を集めていた「ヤマハマジシャン5世号」が期待に応えてみごと優勝。日本ヨット界に初の世界選手権をもちました。

相模湾、そして伊豆大島の三宅島までを舞台に30マイルの3角コースを3回、大島までの100マイルコースを1回、そして三宅島までの200マイルコースを1回と、計5回戦によってその覇を競ったこの大会。

秋の強い風と波、そして黒潮の流れといった厳しい条件下に、トラブルにみまわれ、リタイアする外国艇も続出した中で、ヤマハ技術陣の自信作「マジシャン5世号」(箱守康之艇長ら4名乗り組)は、4位、3位、1位、5位、2位と各レースに安定した強さを発揮、とくに、100、200マイルの長距離レースでは1位、2位のすばらしい成績をおさめての優勝でした。

「マジシャン5世号」のこの快挙は、1975年の「太平洋横断レース」の「ウイング・オブ・ヤマハ号」の偉業につづくもので、ヤマハヨットの優秀さをあらためて世界に広く示したものととなり、ヤマハのヨットづくりに対する国際的評価を一層高めるものとなりました。

## 「78 ヤマハヨットウィーク」浜名湖 「エキスパート」と 「ノービス」に分れ 各レースに熱戦。 仲間同志、楽しい2日間過ごす

「シカール」や「シーホッパー」など、ヤマハのディンギーヨットを愛好する人々の全国組織である「ヤマハセーリング協会」(Y・S・A)が主催する年に一度のビッグイベント「ヤマハヨットウィーク」が、11月3、4日の2日間、静岡県浜名湖にある「ヤマハマリナー」浜名湖を会場に、盛大に開催されました。

今回で4回目をむかえたこの催しは、「シカール」などヤマハディンギーヨット各クラスの全日本選手権大会として、毎年、開催されてきたもので、今大会は、シカールクラスが第2回、シーホッパークラスが第4回、ヤマハ15クラスが第6回の全日本選手権大会となり、今年デビューした「ミニホッパー」のクラスとしては初めての全日本選手権大会となりました。

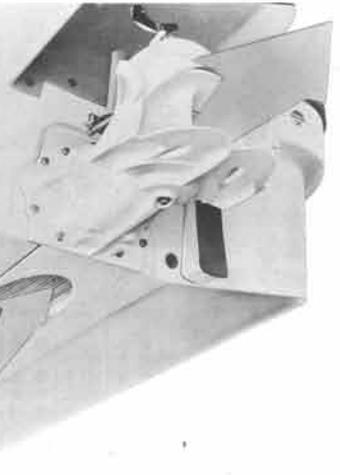
また、今大会では、シカール、シーホッパー、ヤマハ15の各クラスに、ビギナーの方も参加していただき、レースを楽しんでいただくようにと、「ノービスクラス」を新設。レースを、「エキスパート」(ベテラン)と「ノービス」(ビギナー)クラスに分けて行なわれました。このため、ノービスクラスにエントリーした人々にとっては、各クラスとも第一回の全日本選手権大会となりました。

両日とも、さわやかな秋晴れに恵まれたこの大会には、全国各地から196艇、281名の選手が参加。一年間の協会活動の総仕上げともいえるレースに熱戦をくりひろげ前夜祭ではお国自慢の民謡を披露し合うなど、仲間同志の楽しい2日間を過ごしていました。





**ヤマハ独自の設計、開発**  
**ジェットユニットとドライブユニット**  
 優秀なジェット推進機構を完成させるためには、①軽量、コンパクトでしかも高出力のエンジン、②効率の高いポンプ、③高速性に秀れた艇体、といった3つの条件を完全に満たす高度な技術と開発力が必要ですが、ヤマハはジェットユニット、ドライブユニット、そして艇体を独自に新開発し、これら全ての



## 噴射推進機構の画期的新艇 ヤマハマリンジェット MJシリーズ

本誌前号でもご案内のとおり、ハイドロジェットエンジンを搭載し、船底より吸い込んだ水を船尾より噴出することによって船体を推進させる方式のヤマハ和船が、ヤマハMJシリーズとして発売されました。スピード、安全性、操縦性、機動性など、秀れた性能を発揮するこのMJシリーズは、レジャーはもちろん、漁業用、救助用としての用途にもこたえる新艇です。今回はその特長と高性能ぶりをご紹介しましょう。

条件を完璧に満たしてこのMJシリーズを誕生させました。

**強力40馬力。パワーユニットには定評の「40A」のユニットを採用**

ヤマハマリンジェットMJシリーズの強力な推進力は40馬力のパワーユニットから生まれます。このパワーユニットには耐久性、信頼性で定評のヤマハ船外機「40A」のユニットが生かされています。このパワーユニットに、高性能のインペラ（水を吸い込むポンプの役目を果たす）そして噴射効率の高いドライブユニットが一体となっており、いままでにない、走りの世界を生み出しています。従来のジェット推進機構は、スピード性能と燃費の面で、大きなロスがあるといわれていました。しかし、ヤマハマリンジェットは、これを解消。船外機艇と比較しても決して遜色のないものとなっています。



**いままでにない機動性、安全性が最大のメリット**



これら艇の持つ大きな特色は、プロペラ推進のように船底に突起物がなく、回転部分は全て船内に保護されているため、比較的浅い水深（船底から30cm以上）のところや網など障害物のある水面でも安全に航行できる、といった機動性に富むことで、しかも、パワフルで鋭い航走感を楽しんでいただけず。また、近くを泳いでいる人々にも危険を与えないこと、騒音が少ないことも大きな特長で、このため、レジャー用、漁業用はもちろん、救助用としても十分な活躍が期待されています。

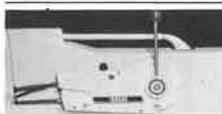
保守、点検、整備が容易。  
 旋回性、保進性、急停止性能など  
 いままでにない操縦性

ヤマハマリンジェットのジェットユニットは、船体そのものの一部（艇部分）をユニットとして利用するもので軽量、コンパクト。またヤマハ独自の機構の開発により、保守や整備の作業もたいへんしやすいものとなっています。



そして、これまた独自のステアリング機構とリバース機構を備えたドライブユニットの開発により、小回り性能、急停止性能も一層高まるとともに、耐久性、信頼性も一段と向上したものとなっています。

### リモートコントロール



### ドライブユニット



こうした数々の特長と、優秀性を備えたMJシリーズは4艇種。W-23Fをベースとした「MJ-23」とそのデラックスタイプ「MJ-23DX」、そしてU-19Fをベースとした「MJ-19」とそのデラックスタイプ「MJ-19DX」がこれら魅力の新商品です。ヤマハが自信をもって贈る画期的新製品、ヤマハMJシリーズの機動力と安全性を多くの人々にPRし、ご拡充ください。

※デラックスタイプは風防とステアリング、ステアリングボックス、ドライブシートを標準装備しています。



79ヤマハバスポートシリーズ★ニューモデル★

**PASSPORT-14** 新しく海の仲間になる人々のための  
“オールラウンドプレイヤー”

●全性、機能性を向上し、スマートさを増して新登場です。デッキから風防への形状をよりスポーティーにし、一段とアクティブな印象を強めました。コックピット両サイドには浮力体を内蔵し安全性も充実、ヒギナーの方も安心して楽しんでいただける小型艇の決定版です。



●全長…4.21m ●全幅…1.67m  
●全深さ…0.70m ●船体重量…178kg ●推奨馬力…25PS ●最高保証馬力…40PS ●航行区域…限定沿海 ●オプション装備品…オーニング

**PASSPORT-17x** 『よりアクティブに海を楽しみたい』  
そんな人々のためのスポーツタイプ

よりアクティブに海を楽しめるスポーツタイプです。水切りの良い2本のストライプ、幅広のチャインがラフな水面での走行性、安全性を高めています。「バスポート-14」同様、コックピット両サイドに浮力体を内蔵し安全への配慮も万全です。推奨エンジンはこの艇にピッタリマッチした85AE。パワフルな走りで行動半径を、そして海の楽しさを大きく広がります。



●全長…4.96m ●全幅…2.03m ●全深さ…0.88m ●船体重量…390kg ●推奨馬力…85PS ●最高保証馬力…100PS×1、55PS×2 ●航行区域…限定沿海 ●オプション装備品…オーニング/航海灯/ホーン/ワイパー/スキーポール

79ヤマハディンギー★ニューモデル

レースによし、  
のんびり楽しむもよし。

**YAMAHA-16**  
シーラーク



●全長…4.95m ●水線長…4.61m ●全幅…1.79m ●吃水…C:Bup 0.15m / C:Bdown 1.05m ●船体重量…150kg ●全セーラー面積…12.50m<sup>2</sup>

ヤマハのディンギーシリーズに、待望の16フィート艇が登場。ブルーウォーター派の人々には乗りやすく、またレース派の人々にはチューニングすることによって、思う存分ハイテクを発揮していただける高性能ディンギーです。

ヤマハ和船★ニューモデル★

**W-19BF** 宮城県北部、岩手県の養殖と磯漁の兼用に…

東北、とくに宮城県北部と岩手県のカキ、ホタテ、ワカメなどの養殖、及びアワビ、ウニなどの磯漁の兼用船として秀れた性能を発揮します。

- セルフベアリング機構で水はけは完全「W-19F」をベースに改良。フロアーラインを直線化して水はけの良さは格段と向上。
- フロアーはすっきり、作業はらくらく船首デッキを高くして物入れを設けました。また、船尾物入れも燃料タンクと他の道具などを安全に整理して格納できるように2つに分けました。
- ネリガイの使用もらくこべりを従来艇より船首、船尾とも深めとしました。ヒザ支えに適当な高さで、この作業も一段とらくにできます。



●全長…5.82m ●全幅…1.68m ●全深さ…0.69m ●船体重量…0.30t ●積載量…0.69t ●最高保証馬力…25PS

**W-20FF** 瀬戸内(とくに香川県)のノリ養殖に…

香川地区のノリ養殖(ベタ流し)に最も適合する和船として、従来の「W-23F-1」と幅広タイプの「W-21F」の中間艇として開発されました。

- 作業性、大幅に向上船首での作業を一層しやすくするため、船首乾舷を620%と従来艇より低くしました。また、摘採機(シャミセン)の積み込みを考慮し、チャイン幅を1.66mと広くとっています。
- 荷受けにも秀れた性能を発揮フロアーはガンネルトップから330%とし、で
- きる限り高くとりました。これにより、フロアーは重荷時でも海面より高く保たれ、水はけも向上、荷受けの良い和船となっています。
- 40馬力搭載可能出ともを採用。船体強度を高めて40馬力の搭載を可能とし、よりスピーディーに作業をしていただけます。



●全長…6.33m ●全幅…1.82m ●全深さ…0.72m ●船体重量…0.35t ●積載量…0.90t ●最高保証馬力…40PS

**W-32F** 有明海のノリ養殖に…

W-27F、W-30F-1 など大型和船が活躍するノリ養殖漁場に、大型化を図り、作業性を一段と向上させての登場です。

- ベカや支柱の積み込みにゆとりの幅と長さ船幅を2.06mと広くとりました。また漁場の変化にともなう長い支柱の積み込みにも余裕をもって応えます。
- 縦骨は3本、ピクともしない船体構造大漁のノリを積み、高速で港と漁場を往復する漁師さんの随使にもピクともしない船体構造となっています。
- 使いやすさを増す配慮も各所にこべりを歩きやすい広さを確保。船尾の物入れ(4個)は水密構造、もちろんイカスとしてもご使用いただけます。



●全長…9.70m ●全幅…2.06m ●全深さ…0.77m ●船体重量…0.71t ●積載量…1.39t ●最高保証馬力…40PS×2 ※写真のステアリングとステアリングボックスはオプションです。

信頼と使い易さに磨きをかけていっしょに青い海へ。



快走!! ニューコンビー85AE & P-17X

より力強く、より使いやすく…。  
ヤマハ最新技術の結晶、新しい機構と配慮が  
大きくしかも安全な海をお届けします。



**独自のパワー**

3気筒・3キャブ、集合排気管システム採用  
●直立3気筒、120度づつの爆発が“少ない振動”なめらかな回転。を実現。  
●キャブレターはバランスパイプ内蔵の3キャブ。吸気抵抗の少ないV型リードバルブとあいまって、高速時はもちろん、低速時でも粘り強いパワーをひきだします。  
●ヤマハ独自の“3気筒集合排気管システム”。ひとつの気筒の爆発圧を利用し、圧縮工程中にある他の気筒の新規吸入ガスの排出を防ぐこの方式の採用は、これまた新設計の高性能ジェットブロップとの一体化により、焼燃効率を高め、スピード性能、パワーバランスの良さは国外の船外機を凌ぐものとなっています。

**使いやすさへの細かな配慮**

新設計リモートコントロールボックスを標準付属品に  
●使いやすさを徹底的に研究、開発した「85AE」は、スイッチ類を一体化し、集中操作ができる新設計の“リモートコントロールボックス”を標準付属品としました。



機能を高めるオプション  
●運転状態を一目で確認できる各種メーター類など、使いやすさを一段と高める数々のオプションも用意しました。

13機種20タイプ・ワイド/リレーション…ヤマハ/船外機。

ヤマハ マリンストア ニュース No.9 ●発行/53年12月1日 ●発行人/小宮 功 ●発行所/ヤマハ発動機株式会社/〒8 静岡県磐田市新貝2500 ☎0538321111